

科目名 (科目番号)	基礎看護論 (111151)	教員名 関 千代子	学科等	医療技術	必修	履修年次	4
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			オフィスアワー		—	看護学科	
授業概要	看護や介護とは何かを学び、看護・介護を通じて家族との係りや援助を理解し、医療・看護・保健・福祉それぞれの専門職の役割や連携について学ぶ。特に臨床工学技士が他の医療職との関係においてチーム医療を担う一員であることの認識を深める。また基礎技術としての体位変換や車椅子・ストレッチャーの扱い方などを学ぶ。さらに在宅看護・術後看護・透析看護の基礎を学ぶ中で患者の思い・立場を実感し、注意点をふまえた各種の援助の在り方について学ぶ。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業内容	到達目標・学習内容				
	1	看護の概念 医療現場の概要	到達目標：看護の概念、医療現場における安全・医療事故防止について理解できる。 学習内容：看護の役割と機能、医療現場で起こる事故とその原因、具体的な事故防止対策について学習する。（講師：尾崎道江）				
	2	保健・医療・福祉の組織とそれぞれの専門職と役割	到達目標：保健・医療・福祉における専門職の役割やチーム医療について理解する。 学習内容：保健・医療・福祉における種々の専門職の役割とチーム医療の効果や有用性について学ぶ。（講師：関千代子）				
	3	在宅看護とその対象者の概要	到達目標：地域における公的サービスのしくみと看護職等の業務について理解できる。在宅看護における利用者サービスの実態から、家族の思いや立場、注意点について理解できる。学習内容：在宅看護と地域の公的サービスの仕組み、そのサービスの実態および患者家族の思いや立場などについて学ぶ。（講師：福田久子）				
	4	看護の実際と対象の理解 (手術療法を受ける患者の看護)	到達目標：周術期にある患者の特徴とチーム医療における看護師の役割および援助の在り方について理解する。 学習内容：周術期にある患者の特徴、患者に関わる主な医療者について理解を深めたうえで、周術期における看護の在り方と注意点について理解する。（講師：日向野香織）				
	5	看護の実際と対象の理解 (透析療法を受ける患者の看護)	到達目標：透析療法における看護師の役割と他職種との連携および、患者の思いや立場、注意点について理解できる。 学習目標：透析療法を主とした血液浄化療法における看護師の役割と、それに係る他職種とのチームワークやその時の患者の立場や注意点について学ぶ。（講師：田所夕子）				
	6	看護技術の基礎知識	到達目標：安全・安楽な療養生活のための、看護技術の基礎知識について理解できる。 学習内容：安全・安心で安らかな療養生活を送るための、基礎看護技術について学ぶ。（講師：山崎智代）				
	7	看護技術の実際	到達目標：移動や移送などに関わる看護技術の実際について理解できる。 学習内容：ボディメカニクスの原理と看護実践、体位変換、車椅子・ストレッチャーでの移動・移送について学習する。（講師：尾崎道江）				
	8	臨床工学技士とチーム医療	到達目標：チーム医療を推進するために必要な要素について理解を深める。 学習内容：手術室や血液浄化室などの患者中心の医療チーム中で、看護の重要性と必要な要素について学ぶ。（講師：関千代子）				
成績評価の方法・基準	授業終了後のレポート（100%）で評価する。						
教科書	特に定めない。必要時資料を配布する。						
参考図書	必要時紹介する。						
教員からのメッセージ	課題レポートはコメントを付して返却します。						